

令和 8 年度 第 1 回 北信地域障がい福祉自立支援協議会 精神部会 議事録

1 開催概要

日時：令和 8 年 4 月 21 日（火）13 時 30 分～15 時 50 分

会場：野沢温泉村役場 203 会議室

出席：北信保健福祉事務所健康づくり支援課、北信地域振興局総務管理課、木島平村民生課、野沢温泉村民生課、北信総合病院、佐藤病院、相談支援事業所よろこび、デイホームこころ、りんごの木共同作業所、飯山市地域活動支援センター、つくしの家、クローバー、ほくしん圏域就業・生活支援センター、北信地域障がい福祉自立支援協議会事務局（北信圏域障害者総合相談支援センター）

2 精神部会の目的

精神障がいのある方が、住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、医療・保健・福祉等の関係機関が連携して支援を行える体制を構築することを目的として確認した。あわせて、啓発活動等を通じて、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指すことを共有した。

3 協議事項

(1) 部会長・副部会長体制の確認

部会長・副部会長は 2 年交代を基本とし、令和 8 年度は昨年度に引き続き、部会長を市町村、副部会長を事業所から選出する体制を進めることを確認した。部会長を野沢温泉村民生課保健衛生係、副部会長をデイホームこころがつとめる。また、部会運営委員会については、部会長・副部会長に加え、北信保健福祉事務所健康づくり支援課、佐藤病院、事務局を中心に進めることを確認した。

(2) 協議会及び精神部会の位置づけの確認

北信地域障がい福祉自立支援協議会の組織図及び各専門部会の位置づけについて確認した。精神部会は、精神障がいのある方の地域生活を支えるため、医療・保健・福祉等の関係機関が情報共有、課題整理、事例検討を行う場として位置づけられていることを共有した。また、長野県自立支援協議会精神障がい者地域移行支援部会、精神障がい者地域生活支援コーディネーター等連絡会議、長期入院者訪問支援員等の取組と圏域の精神部会がつながっていることを確認した。県域の動向や取組状況を本部会に持ち帰り、北信圏域における地域移行・地域定着支援の実践につなげていくことの重要性を共有した。

(3) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムについて

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムについて、精神障がいのある方が住み慣れ

た地域で安心して暮らし続けられるよう、医療、住まい、障がい福祉・介護、相談支援、社会参加等が切れ目なくつながる仕組みづくりを目指す考え方であることを確認した。

北信圏域障害福祉計画及び第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画との連動において、精神部会は、地域移行、地域定着、長期入院を未然に防ぐ予防的支援、ピアサポーター等の検討を担う部会であることを共有した。

(4) 令和7年度の取組の振り返り

令和7年度は、「居住」の観点から、精神障がいのある方の病院・グループホームから地域への移行をテーマに、1事例を継続的に取り上げた事例検討を中心に取組を進めた。事例検討では、本人の意思形成、段階的な支援、医療と福祉の連携、家族の理解と支えの重要性を確認した。

また、地域移行後の支援として、一般相談支援、自立生活援助、訪問看護、金銭管理支援、支援者交代を見据えた引継ぎ体制等について意見交換を行い、地域移行後の定着支援の必要性を共有した。

(5) 令和8年度 精神部会活動内容（案）の確認

令和8年度の活動内容として、次の4点を柱とすることを確認した。

- ・病院から地域移行を目指す対象者の共有及び事例検討を通じた具体的対応の協議
- ・地域移行後の定着支援に関する検討
- ・ピアサポーターの活動や関わり方に関する情報共有及び活用可能性の検討
- ・長野県自立支援協議会精神障がい者地域移行支援部会、精神障がい者地域生活支援コーディネーター等連絡会、長期入院者訪問支援員等からの情報共有

今年度は特に、「病院から地域移行を目指す対象者の共有及び事例検討を通じた具体的対応の協議」と「ピアサポーターについて」を重点的に進める方向を共有した。あわせて、これまでの普及啓発活動委員会については、普及啓発の視点を大切にしつつ、より本人の地域生活を支える視点を強めるため、ピアサポート委員会として整理していく方向で検討することとした。

なお、今年度は委員会ごとに分かれて進めるのではなく、部会員全体で課題や方向性を共有しながら進めることを基本とし、必要に応じて委員会的な役割分担を持ちながら進めることを確認した。

4 意見交換で共有された主な課題

○地域移行の進め方

病院からグループホーム等の地域生活へつながることは大きな一歩である一方、グループホームから一人暮らし等へ移行する際には、さらに丁寧な支援が必要である。昨年度を取組で見えてきた課題を踏まえ、今年度は焦点を絞り、目指す方向を整理しながら進める必要が

ある。

○長期入院の予防

長期入院が長期化するほど地域移行が困難になることから、入院前や入院早期から地域支援者が関わる予防的支援の重要性が共有された。保健師のみでは対応が難しいケースもあり、関係機関が集まって協議する場の意義が確認された。

○退院支援における住まい・制度利用

退院支援にあたっては、グループホーム等が主な移行先となることが多いが、障害支援区分の取得から実際の制度利用につながるまでに時間を要すること、圏域内のグループホームの空きが少なく圏域外事業所との調整が必要となることが課題として共有された。

○制度の整理

高齢化等により介護保険制度の対象となるケースでは、障がい福祉サービスと介護保険サービスのどちらを優先するか、関係者間で整理が必要となる場合があることが共有された。

○疾病理解・本人理解

退院直後には、本人が自身の疾患や障がいを十分に理解できていない場合もあることから、疾病教育や本人の自己理解を支える取組の必要性について意見が出された。

5 確認事項及び今後の対応

- ・次回以降の精神部会の内容については、運営委員会等で整理したうえで案内する。

6 連絡事項

令和8年度の精神部会は、全5回を予定していることを確認した。

第1回 4月21日（火） 野沢温泉村役場 203会議室

第2回 6月22日（月） 飯山庁舎 300号室

第3回 9月15日（火） 飯山庁舎 大会議室

第4回 12月15日（火） 未定

第5回 2月16日（火） 未定

また、北信保健福祉事務所健康づくり支援課より、くらしと健康の相談会及び精神保健福祉相談について案内があった。